

平成23年4月

会員各位

社団法人 日本船舶電装協会

平成23年度の講習及び検定試験のご案内について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平成23年度の初級（電装士）、中級（主任）、上級（管理者）、航海用レーダー等及び無線設備の各講習及び検定試験を「平成23年度 講習・検定試験募集案内」の要領により実施いたします。

この講習及び検定試験による資格の取得は、各運輸局等が行う船舶電気艙装工事事業場、レーダー等装備・整備事業場及びGMDSS設備サービス・ステーションになるための要件となっております。

また、(財)日本海事協会及び日本小型船舶検査機構にあつては船舶検査の合理化の面から、海上保安庁及び鉄道建設・運輸施設整備支援機構にあつては、所有船・共有船の建造・修繕工事の業者選定に際して、工事の質を向上させる面から当協会の資格制度が活用される他、一般工事にあつても受注要件となる場合もあります。

船舶電気艙装工事事業場、レーダー等装備・整備事業場及びGMDSS設備サービス・ステーションの各制度の果たす役割を十分ご活用いただくためにも、貴社従業員が本講習及び検定試験に多数ご応募されますようお願いいたします。

敬 具

**講習申込締切日：平成23年5月27日（金）必着**

(注) 3月11日の東日本大震災で被害のあった青森、岩手、宮城、福島4県の方は、上記締切日の対象外とします。

## 【事業主の皆様へ】

== 事業主へのお願い ==

受講、受験の目的を正しく受講者、受験者に伝えて下さい。  
⇒ 事業主から期待されることは、本人のやる気の向上につながります。  
諦めることなく最後まで頑張るよう指導、協力して下さい。

### 1. 決められた期日を守るよう指導して下さい。

- ・添削問題の解答提出期日を守る。
- ・また、わからないことなどある場合には、遠慮なく協会指導技師に質問するよう指導して下さい。

### 2. 実技の指導を十分に行って下さい。

- ・がい装電線の端末処理、工具の取り扱いが電装工事の基本です。

### 3. 検定試験当日の注意点

- ・実技試験で工具を持参する。
- ・試験開始時間に遅れない。
- ・止むを得ず遅れる、又は欠席する場合は必ず協会本部に連絡する。

== 最近の変更点 ==

### 1. 経験年数が緩和されています（平成17年度から）

- ・受講年度・受験年度を経験年数（1年）に含めて算定します。
- ・これにより、従来に比べて1年早い受講、受験が可能となりました。

### 2. 上級講習及び船舶電装管理者の受験地が変わっています（平成17年度から）

- ・上級講習及び船舶電装管理者検定試験を毎年行います。
- ・講習方法は通信講習方式（他の講習と同じ）とし、船舶電装管理者の検定試験は、全国7ヶ所の会場で受験できます。（他の検定試験と同じ）

### 3. 主任船舶電装士も実技試験を行います（平成16年度から）

- ・船舶電装士の資格を持たずに主任船舶電装士を受験する場合は、実技試験を受けていただきます。（船舶電装士、第1種電気工事士、第2種電気工事士の資格者は除きます。）

## 平成23年度 講習・検定試験募集案内

社団法人 日本船舶電装協会

## 1. 講習と検定試験の種類

本協会が行う講習及び検定試験には以下の種類があります。

会員事業場に所属する方は、対応する講習を修了することで、検定試験を受験することができます、合格すると本協会の資格を取得することができます。

講習の種類	検定試験の種類
初級講習	船舶電装士
中級講習	主任船舶電装士
上級講習	船舶電装管理者
航海用レーダー等講習	航海用レーダー整備士
無線設備講習	航海用無線設備整備士

## 2. 講習について

## (1) 対象者（受講できる方）

別項『受講・受験資格について』（4ページを参照）に種類別に定める条件に該当する方。

## (2) 講習のあらまし

講習は、通信講習（添削指導）により行います。

受講申込書の受理後、受講者の所属する事業場宛てに講習用指導書をお送りいたしますので、受講者の皆さんはこの指導書で勉強し、指導書に付属している添削問題に解答を記入して、所定の提出期日までに当協会に提出していただきます。

\* 提出期日は、添削問題に記載されています。提出していただいた添削問題は、当協会の指導技師が添削と採点を行った後、標準解答を添付して所属する事業場を通じて受講者にお返しいたします。

## (3) 指導書の種類と送付開始時期

初級講習指導書

下記4冊 6月上旬より送付

電気装備概論編	電気艀装工事編
電気工学の基礎編	電気機器編

中級講習指導書

下記4冊 6月上旬より送付

電気装備技術基準編	電気艀装設計編
電気計算編	試験・検査編

上級講習指導書

下記4冊 6月上旬より送付

電装生産管理編	自動制御と遠隔制御編
SOLAS条約と国内関連法規編	高圧電気設備編

航海用レーダー等講習指導書 下記4冊 6月上旬より送付

基礎理論編	装備艀装工事編
機器保守整備編	A I S ・ V D R ・ G P S 編

基礎理論編	艀装工事及び保守整備編
法規編	

## (4) 受講票の交付

受講票は、指導書と一緒に交付いたします。この受講票は検定試験の時に提示していただきますので、受験する方は大切に保管して下さい。

## (5) 講習（添削指導）期間

**平成23年6月上旬～9月上旬**

### 3. 検定試験について

## (1) 対象者（受験できる方）

当協会の会員事業場に所属する方で、別項『受講・受験資格について』に種類別に定める条件に該当する方で、対応する講習を修了しているか本年度に修了する見込みの方。

\* 非会員の方は検定試験を申し込むことができません。

## (2) 検定試験の内容

検定試験の種類に応じ、下の表の内容の試験を行います。

検定試験の種類	筆記試験	実技試験(*)	口述試験
船舶電装士	○	○	○
主任船舶電装士	○	△	○
船舶電装管理者	○		○
航海用レーダー整備士	○		○
航海用無線設備整備士	○		○

\* 実技試験については、別項『実技試験について』（7ページ）をご参照下さい。

(△注) 主任船舶電装士検定試験における実技試験は、船舶電装士及び第1種電気工事士または第2種電気工事士（国家資格）を保有している方は免除されます。

## (3) 検定試験の日程

下の表に記載された実施場所にて、各1日を実施する予定です。

実施場所（予定）	実施時期
札幌、仙台、東京、大阪、広島、高松、福岡	10月～11月を予定

\* 上記の実施場所は、受験者の人数により変更することがありますので、ご了承下さい。また、検定試験の日程・会場については、9月上旬に所属する事業場を通じてご案内いたします。

### 4. 申し込み方法

検定試験の同時申し込みも可能です。

本年度に検定試験を受験する予定の方は、なるべく同時にお申し込み下さい。

## (1) 申し込み方法

必要書類一式を当協会宛てに郵送または直接持ち込み

#### 申し込みに必要な書類

○ 受講申込書（兼 検定試験受験願書）\* 様式1.1～1.5

講習種類別の申込書『受講申込書（兼 検定試験願書）』をご利用下さい。

検定試験のみ申し込む場合は『船舶電気装備技術資格者検定試験 受験願書』（様式 2.1）をご利用下さい。受講・受験者が複数の場合には、コピーしてご利用下さい。

\* 記載方法をよく読んでご記入下さい。

○ 顔写真

大きさ、枚数については、記載方法をご参照下さい。

○ 各種証明書のコピー（A4版）

受講・受験資格の軽減措置を受ける方は、関連する証明書や免状のコピー（A4版）を添えてください。

(2) 申込期日

**締切日 平成23年5月27日（金） 必着**

ご案内（当文書）送付後、随時受付いたします。

(3) 受講料及び受験料

受講料（及び受験料）全種類共通（消費税込み）

	受講料 1件につき	受験料 1件につき
会員事業場に所属する方	12,000円	5,000円
非会員の方	24,000円	申し込み不可

受講料（及び受験料）の払込み方法

申込書と一緒に現金書留により送付していただくか、申込書を送付した後に、銀行振込又は郵便振替によりご送金ください。

振込等によりご送金いただく場合は、申込書にご送金予定日をご記入いただければ幸いです。

振込先 口座名 (社) 日本船舶電装協会

\* 恐縮ですが、振込手数料は貴社にてご負担下さい。

三菱東京UFJ銀行 本店 普通預金 7644207  
三井住友銀行 東京公務部 普通預金 389180  
みずほ銀行 虎ノ門支店 普通預金 1965512  
郵便振替 00150-6-144764

(4) 申込書の送付先

郵便番号105-0001

東京都港区虎ノ門1丁目11番2号（日本財団第二ビル 5階）

社団法人 日本船舶電装協会 技術部

電話 03-3504-0858

FAX 03-3504-0856

## 受講・受験資格について

以下の講習・検定試験の種類別に定められた条件に該当する方が受講・受験できます。講習の申し込みと同時に、対応する検定試験の申し込みすることができます。非会員の方も受講できますが、検定試験については非会員の方は受験することができません。

### 初級講習及び船舶電装士検定試験

下表に該当する学歴での経験年数を満たす方。

検定試験については、初級講習を修了又は修了見込みであること。

学歴	経験年数
工業高校の電気専門課程卒業	1年以上
普通高校卒業	2年以上
中学校卒業	3年以上

- \* 工業高校の電気専門課程の範囲には、専修学校の電気工事科及び職業訓練校の電気機器科、電気工事科、発電電科又は送配電科が含まれます。
- \* 普通高校の範囲には、工業高校電気専門課程以外のすべての高校、学科が含まれます。また、大学及び工業高等専門学校の電気専門課程以外のすべての学科が含まれます。
- \* 経験年数とは船舶電装工事の経験年数で、平成24年4月1日までの見込み分を含めて計算します。

#### 【軽減措置】

下の表に該当する方の経験年数は下表のとおりです。

所有している他の資格	経験年数
電気工事士	1年

### 中級講習及び主任船舶電装士検定試験

下の表に該当する学歴及び資格での経験年数を満たす方。

検定試験については、中級講習を修了又は修了見込みであること。

学歴又は資格	経験年数
大学（工）の電気専門課程卒業	1年以上
工業高等専門学校の電気専門課程卒業	2年以上
船舶電装士	2年以上

- \* 工業高等専門学校の電気専門課程の範囲には、短期大学の電気専門課程、専修学校の電気工学科及び職業訓練短大の電気科が含まれます。
- \* 経験年数とは船舶電装工事の経験年数で、平成24年4月1日までの見込み分を含めて計算します。

#### 【軽減措置】

下の表に該当する方の経験年数は下表のとおりです。

学歴又は資格	所有している他の資格又は経験年数	経験年数
船舶電装士を保有し、かつ、工業高等専門学校の電気専門課程卒業	第3種・第2種・第1種電気主任技術者	1年
船舶電装士	船舶電気装備工事の経験年数10年以上	1年

## 上級講習及び船舶電装管理者検定試験

下の表に該当する資格での監督業務経験年数を満たす方。

検定試験については、上級講習を修了又は修了見込みであること。

資 格	監督業務経験年数
主任船舶電装士	左記の資格を取得してから4年以上

- \* 監督業務とは、船舶電気装備に関する業務（設計、工事（整備及び修理を含む）及び自主検査をいう）に従事する人員を直接監督する者のうちから、当該業務に対して責任を有する者として選任された者であって、少なくとも課長又はそれと同等以上の職責を有する者をいいます。

また、経験年数は平成24年4月1日までの見込み分を含めて計算します。

### 【軽減措置】

下の表に該当する方の経験年数は下表のとおりです。

所有している他の資格	経験年数
第3種電気主任技術者	3年
第2種電気主任技術者	2年
第1種電気主任技術者	2年

## 航海用レーダー等講習及び航海用レーダー整備士検定試験

下の表に該当する学歴での経験年数を満たす方。

検定試験については、航海用レーダー等講習を修了又は修了見込みであること。

学歴	経験年数
大学（工）の電子・電気専門課程卒業	1年以上
工業高等専門学校 of 電子・電気専門課程卒業	2年以上
工業高校の電子・電気専門課程卒業	3年以上
普通高校卒業	4年以上
中学校卒業	5年以上

- \* 工業高等専門学校の電子・電気専門課程の範囲には、短期大学の電子・電気専門課程、専修学校の電子・電気工学科又は無線通信科及び職業訓練短大の電子・電気科が含まれます。
- \* 工業高校の電子・電気専門課程の範囲には、職業訓練校の電子機器科が含まれます。
- \* 普通高校の範囲には、工業高校、工業高等専門学校及び大学の電子・電気専門課程以外のすべての学科が含まれます。
- \* 経験年数とはレーダー等整備工事の経験年数で、平成24年4月1日までの見込み分を含めて計算します。

### 【軽減措置】

下の表に該当する方の経験年数は下表のとおりです。

所有している他の資格	経験年数
第1級陸上無線技術士（電波法）	1年
第1級総合無線通信士（電波法）	2年
第1級海上無線通信士（電波法）	2年
第2級海上無線通信士（電波法）	2年
第2級陸上無線技術士（電波法）	2年

所有している他の資格	経験年数
第3級海上無線通信士（電波法）	3年

### 無線設備講習及び航海用無線設備整備士検定試験

下の表に該当する学歴での経験年数を満たす方。

検定試験については、無線設備講習を修了又は修了見込みであること。

学歴	経験年数
大学（工）の電子・電気専門課程卒業	1年以上
工業高等専門学校卒業	2年以上
工業高校の電子・電気専門課程卒業	3年以上
普通高校卒業	4年以上
中学校卒業	5年以上

- \* 工業高等専門学校の電子・電気専門課程の範囲には、短期大学の電子・電気専門課程、専修学校の電子・電気工学科又は無線通信科及び職業訓練短大の電子・電気科が含まれます。
- \* 工業高校の電子・電気専門課程の範囲には、職業訓練校の電子機器科が含まれます。
- \* 普通高校の範囲には、工業高校、工業高等専門学校及び大学の電子・電気専門課程以外のすべての学科が含まれます。
- \* 経験年数とは無線設備整備工士の経験年数で、平成24年4月1日までの見込み分を含めて計算します。

#### 【軽減措置】

下の表に該当する方の経験年数は下表のとおりです。

所有している他の資格	経験年数
第1級陸上無線技術士（電波法）	1年
第1級総合無線通信士（電波法）	2年
第1級海上無線通信士（電波法）	2年
第2級海上無線通信士（電波法）	2年
第2級陸上無線技術士（電波法）	2年
第3級海上無線通信士（電波法）	3年

# 実技試験について

船舶電装士・主任船舶電装士検定試験で行われる実技試験の問題は下記のとおりです。

下図のように、ケーブル（TPYC-2.5）を圧着端子により、防水形小型接続箱に接続する次の一連の実技作業を「基本に忠実に」行うことをチェックする、即ち

(1) 線端処理

がい装を適当な位置で除去し、ほつれ止めを施しているか  
シースを傷つけないように適当な位置で除去しているか  
絶縁物を傷つけないように除去しているか  
導体の心線出し、その保護に注意しているか  
圧着端子を確実に取り付けているか

(2) 線端識別表示

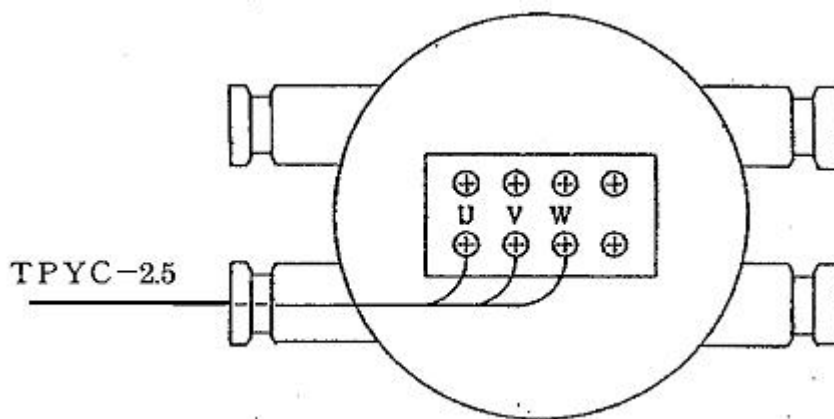
JEM規定に従って、線端識別のための色別テーピングを行っているか

(3) ケーブルを接続箱内に導入する

ケーブルに適合するガスケット及び座金を選定しているか  
端子に確実に結線しているか  
予備端子を締め付けているか

(4) 電線貫通金物導入部の防水処理

電線が抜けないように適切に締め付けグラウンドを締め付けているか  
ガスケットが電線のシースの上で締め付けられているか



作業時間 30分以内（1本のケーブルを導入する場合の所用時間）

社団法人 日本船舶電装協会

初級（電装士）講習 受講申込書（兼 検定試験受験願書）				
平成 年 月 日				
申 込 者	ふりがな		生年月日	年 月 日
	本人氏名	印	役職名	
	(所属事業場名)			
	(代表者氏名)	印		
	(所在地)			
	(連絡担当者)	(電話番号)		
技能手帳の有無・手帳番号		有（手帳番号 S）・無		
学 歴	卒業学校名	学 部	学 科	卒業年月
				年 月
陸上電気関係の保有資格の名称				取得年月 年 月
船舶電気装備工事の通算経験年数		(平成24年4月1日現在) 年		
【会員のみのみ】 同時に検定試験も申し込む方は、下記 □に○印を付け、受験希望地をご記入下さい。				
<input type="checkbox"/> 船舶電装士検定試験を申し込む				
受験希望地 (一ヶ所を○で囲んで下さい)		札幌 ・ 仙台 ・ 東京 ・ 大阪 ・ 広島 ・ 高松 ・ 福岡		
顔写真貼付欄 (非会員は貼付不要)  ・ 申込み前6ヶ月以内に上半身・正面・脱帽にて撮影したもの(縦4cm・横3cm)  ・ 写真の裏面に氏名を記入して下さい		上端のりづけ  [講習用]	上端のりづけ  [検定試験用]	
		※ 顔写真は講習用・検定試験用に各1枚(計2枚)を貼付して下さい。		
受講料及び受験料 (金額は消費税込み)		受講のみの方 : 12,000円 (非会員は24,000円) 受講及び検定試験の方 : 17,000円 別途送金の場合 : 送金予定日 月 日 (銀行振込・郵便振替)		

この「申込書」にご記入いただいた個人情報は厳重に管理取扱いを行い、船舶電気装備技術者の資格の運用に関する用途以外には一切使用いたしません。

## 記載要領

- (1) 「本人氏名」「ふりがな」欄には、受講・受験者本人の氏名を記入し、押印をして下さい。
- (2) 「生年月日」欄には、和暦（昭和・平成）の年月日を記入して下さい。
- (3) 「役職名」欄には、申込日現在の本人の役職名を記入して下さい。
- (4) 「所属事業場名」欄は、本人が所属している事業場の名称（会社名・必要に応じて支店営業所名）を記入して下さい。これが本人が資格を取得した際の所属事業場となりますから、複数の支店営業所等がある場合には特に注意して記入して下さい。
- (5) 「代表者名」欄は、所属事業場の代表者もしくは責任者の役職名と氏名を記入し、押印をして下さい。
- (6) 「所在地」欄には、所属事業場の所在地を都道府県名から記入して下さい。
- (7) 「連絡担当者」欄には、この申し込みについて回答できる人の氏名を記入して下さい。
- (8) 「電話番号」欄には、連絡担当者の電話番号を市外局番から記入し、必要に応じて内線番号等を記入して下さい。
- (9) 「技能手帳の有無・手帳番号」欄には、技能手帳の有無（本人が過去に当協会の技能手帳を交付されているかどうか）を○で囲み、[有]の場合は技能手帳の番号（技能手帳に記載されている『S』で始まる番号）を記入して下さい。
- (10) 「学歴」欄には、原則として最終学歴（卒業学校名・学部名・学科名・卒業年月）を記入して下さい。  
受講・受験資格に必要な経験年数の算定に係る学歴が別にある場合には、その学歴も記入して下さい。詳細は募集案内の[受講・受験資格について]を参照して下さい。  
例：最終学歴は『大学の文系学部卒業』だが高等学校が『工業高校電気科卒業』である場合は、両方とも記入して下さい。
- (11) 「陸上電気関係の保有資格の名称」欄には、保有している陸上電気関係の資格の名称と、取得年月を記入して下さい。詳細は募集案内の[受講・受験資格について]を参照して下さい。
- (12) 「船舶電気装備工事の通算経験年数」欄には、平成24年4月1日の時点での船舶電気装備工事の経験年数（見込み分を含む）を記入して下さい。

### 検定試験も同時に申し込む場合

※ 検定試験は、会員の事業場に所属する方だけが申し込むことができます。

- (13) 「船舶電装士検定試験を申し込む」欄に○印をつけて下さい。
- (14) 「受験希望地」欄に記載されている実施予定地のうち、1つを選んで○で囲んで下さい。

### 顔写真について

※ 非会員は顔写真を貼付する必要はありません。

- (A) 枚数について  
顔写真は、講習用に1枚・検定試験用に1枚（検定試験を申し込む場合のみ）の合計2枚が必要です。  
本年度に他の種類の講習や検定試験を申し込む場合、講習や検定試験の種類ごとに顔写真を用意する必要はありません。必要な顔写真の枚数は、1人につき最多で2枚です。
- (B) 写真について  
上半身・正面・脱帽にて撮影したものを使用して下さい。スピード写真可、白黒・カラーは不問です。  
撮影画像をプリンター等で印刷したものを使用する場合は、紙の厚さが0.1ミリ以下のものは避け、なるべく写真専用の光沢用紙を使用して下さい。
- (C) その他  
顔写真は、所定の大きさ（縦4cm、横3cm）に切り揃えて、貼り付ける前に裏面に本人氏名を記入して下さい。  
「顔写真貼付欄」の所定の箇所のにりづけします。のりは写真の上端にだけ付けて下さい。

中級（主任）講習 受講申込書（兼 検定試験受験願書）				
平成 年 月 日				
申 込 者	ふりがな		生年月日	年 月 日
	本人氏名	印	役職名	
	(所属事業場名)			
	(代表者名)	印		
	(所在地)			
	(連絡担当者)	(電話番号)		
技能手帳の有無・手帳番号		有（手帳番号 S）・無		
学 歴	卒業学校名	学 部	学 科	卒業年月
				年 月
陸上電気関係の保有資格の名称				取得年月 年 月
船舶電気装備工事の通算経験年数		(平成24年4月1日現在) 年		
船舶電装士の取得年月		年 月	船舶電装士取得後の 電気装備工事の経験年数	(4月1日現在) 年
[会員のみのみ] 同時に検定試験も申し込む方は、下記 □に○印を付け、受験希望地をご記入下さい。				
<input type="checkbox"/> 主任船舶電装士検定試験を申し込む				
受験希望地 (一ヶ所を○で囲んで下さい)		札幌 ・ 仙台 ・ 東京 ・ 大阪 ・ 広島 ・ 高松 ・ 福岡		
顔写真貼付欄 (非会員は貼付不要)		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px; text-align: center;">                 上端のりづけ  [講習用]             </div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px; text-align: center;">                 上端のりづけ  [検定試験用]             </div> </div>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 申込み前6ヶ月以内に上半身・正面・脱帽にて撮影したもの（縦4cm・横3cm）</li> <li>・ 写真の裏面に氏名を記入して下さい</li> </ul>		※ 顔写真は講習用・検定試験用に各1枚（計2枚）を貼付して下さい。		
受講料及び受験料 (金額は消費税込み)		受講のみの方 : 12,000円 (非会員は24,000円) 受講及び検定試験の方 : 17,000円 別途送金の場合 : 送金予定日 月 日 (銀行振込・郵便振替)		

この「申込書」にご記入いただいた個人情報は厳重に管理取扱いを行い、船舶電気装備技術者の資格の運用に関する用途以外には一切使用いたしません。

## 記載要領

- (1) 「本人氏名」「ふりがな」欄には、受講・受験者本人の氏名を記入し、押印をして下さい。
- (2) 「生年月日」欄には、和暦（昭和・平成）の年月日を記入して下さい。
- (3) 「役職名」欄には、申込日現在の本人の役職名を記入して下さい。
- (4) 「所属事業場名」欄は、本人が所属している事業場の名称（会社名・必要に応じて支店営業所名）を記入して下さい。これが本人が資格を取得した際の所属事業場となりますから、複数の支店営業所等がある場合には特に注意して記入して下さい。
- (5) 「代表者名」欄は、所属事業場の代表者もしくは責任者の役職名と氏名を記入し、押印をして下さい。
- (6) 「所在地」欄には、所属事業場の所在地を都道府県名から記入して下さい。
- (7) 「連絡担当者」欄には、この申し込みについて回答できる人の氏名を記入して下さい。
- (8) 「電話番号」欄には、連絡担当者の電話番号を市外局番から記入し、必要に応じて内線番号等を記入して下さい。
- (9) 「技能手帳の有無・手帳番号」欄には、技能手帳の有無（本人が過去に当協会の技能手帳を交付されているかどうか）を○で囲み、[有]の場合は技能手帳の番号（技能手帳に記載されている『S』で始まる番号）を記入して下さい。
- (10) 「学歴」欄には、原則として最終学歴（卒業学校名・学部名・学科名・卒業年月）を記入して下さい。  
受講・受験資格に必要な経験年数の算定に係る学歴が別にある場合には、その学歴も記入して下さい。詳細は募集案内の[受講・受験資格について]を参照して下さい。  
例：最終学歴は『大学の文系学部卒業』だが高等学校が『工業高校電気科卒業』である場合は、両方とも記入して下さい。
- (11) 「陸上電気関係の保有資格の名称」欄には、保有している陸上電気関係の資格の名称と、取得年月を記入して下さい。詳細は募集案内の[受講・受験資格について]を参照して下さい。
- (12) 「船舶電気装備工事の通算経験年数」欄には、平成24年4月1日の時点での船舶電気装備工事の経験年数（見込み分を含む）を記入して下さい。
- (13) 「船舶電装士の取得年月」欄には、資格を取得した年月を、「船舶電装士取得後の経験年数」欄には、その船舶電装士の取得年月から起算して平成24年4月1日の時点での船舶電気装備工事の経験年数（見込み分を含む）を記入して下さい。

### 検定試験も同時に申し込む場合

※ 検定試験は、会員の事業場に所属する方だけが申し込むことができます。

- (14) 「主任船舶電装士検定試験を申し込む」欄に○印をつけて下さい。
- (15) 「受験希望地」欄に記載されている実施予定地のうち、1つを選んで○で囲んで下さい。

### 顔写真について

※ 非会員は顔写真を貼付する必要はありません。

- (A) 枚数について  
顔写真は、講習用に1枚・検定試験用に1枚（検定試験を申し込む場合のみ）の合計2枚が必要です。  
本年度に他の種類の講習や検定試験を申し込む場合、講習や検定試験の種類ごとに顔写真を用意する必要はありません。必要な顔写真の枚数は、1人につき最多で2枚です。
- (B) 写真について  
上半身・正面・脱帽にて撮影したものを使用して下さい。スピード写真可、白黒・カラーは不問です。  
撮影画像をプリンター等で印刷したものを使用する場合は、紙の厚さが0.1ミリ以下のものは避け、なるべく写真専用の光沢用紙を使用して下さい。
- (C) その他  
顔写真は、所定の大きさ（縦4cm、横3cm）に切り揃えて、貼り付ける前に裏面に本人氏名を記入して下さい。  
「顔写真貼付欄」の所定の箇所のにりづけします。のりは写真の上端にだけ付けて下さい。

上級（管理者）講習 受講申込書（兼 検定試験受験願書）								
平成 年 月 日								
申 込 者	ふりがな		生年月日	年 月 日				
	本人氏名	印	役職名					
	(所属事業場名)							
	(代表者名)	印						
	(所在地)							
	(連絡担当者)	(電話番号)						
技能手帳の有無・手帳番号		有（手帳番号 S ） ・ 無						
陸上電気関係の保有資格の名称		取得年月 年 月						
主任船舶電装士の取得年月		年 月						
船舶電気装備工事に 関する監督業務の経歴	役職名（又は職務内容）	就任年月	在任期間					
		年 月	年 月					
	(現職)	年 月	年 月					
[会員のみのみ] 同時に検定試験も申し込む方は、下記 □に○印を付け、受験希望地をご記入下さい。								
<input type="checkbox"/> 船舶電装管理者検定試験を申し込む								
受験希望地 (一ヶ所を○で囲んで下さい)		札幌 ・ 仙台 ・ 東京 ・ 大阪 ・ 広島 ・ 高松 ・ 福岡						
顔写真貼付欄 (非会員は貼付不要)		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">上端のりづけ</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">上端のりづけ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">[講習用]</td> <td style="text-align: center;">[検定試験用]</td> </tr> </table>			上端のりづけ	上端のりづけ	[講習用]	[検定試験用]
上端のりづけ	上端のりづけ							
[講習用]	[検定試験用]							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 申込み前6ヶ月以内に上半身・正面・脱帽にて撮影したもの（縦4cm・横3cm）</li> <li>・ 写真の裏面に氏名を記入して下さい</li> </ul>		※ 顔写真は講習用・検定試験用に各1枚（計2枚）を貼付して下さい。						
受講料及び受験料 (金額は消費税込み)		受講のみの方 : 12,000円 (非会員は24,000円) 受講及び検定試験の方 : 17,000円 別途送金の場合 : 送金予定日 月 日 (銀行振込・郵便振替)						

この「申込書」にご記入いただいた個人情報は厳重に管理取扱いを行い、船舶電気装備技術者の資格の運用に関する用途以外には一切使用いたしません。

## 記載要領

- (1) 「本人氏名」「ふりがな」欄には、受講・受験者本人の氏名を記入し、押印をして下さい。
- (2) 「生年月日」欄には、和暦（昭和・平成）の年月日を記入して下さい。
- (3) 「役職名」欄には、申込日現在の本人の役職名を記入して下さい。
- (4) 「所属事業場名」欄は、本人が所属している事業場の名称（会社名・必要に応じて支店営業所名）を記入して下さい。これが本人が資格を取得した際の所属事業場となりますから、複数の支店営業所等がある場合には特に注意して記入して下さい。
- (5) 「代表者名」欄は、所属事業場の代表者もしくは責任者の役職名と氏名を記入し、押印をして下さい。
- (6) 「所在地」欄には、所属事業場の所在地を都道府県名から記入して下さい。
- (7) 「連絡担当者」欄には、この申し込みについて回答できる人の氏名を記入して下さい。
- (8) 「電話番号」欄には、連絡担当者の電話番号を市外局番から記入し、必要に応じて内線番号等を記入して下さい。
- (9) 「技能手帳の有無・手帳番号」欄には、技能手帳の有無（本人が過去に当協会の技能手帳を交付されているかどうか）を○で囲み、[有]の場合は技能手帳の番号（技能手帳に記載されている『S』で始まる番号）を記入して下さい。
- (10) 「陸上電気関係の保有資格の名称」欄には、保有している陸上電気関係の資格の名称と、取得年月を記入して下さい。詳細は募集案内の[受講・受験資格について]を参照して下さい。
- (11) 「主任船舶電装士の取得年月」欄には、資格を取得した年月を記入して下さい。
- (12) 「船舶電気装備工事に関する監督業務の経歴」欄には、該当する業務について役職名・就任年月・及び在任期間を記入して下さい。在任期間は平成24年4月1日の時点での年月（見込み分を含む）を記入して下さい。監督業務の定義は、募集案内の[受講・受験資格について]を参照して下さい。

### 検定試験も同時に申し込む場合

※ 検定試験は、会員の事業場に所属する方だけが申し込むことができます。

- (13) 「船舶電装管理者検定試験を申し込む」欄に○印をつけて下さい。
- (14) 「受験希望地」欄に記載されている実施予定地のうち、1つを選んで○で囲んで下さい。

### 顔写真について

※ 非会員は顔写真を貼付する必要はありません。

- (A) 枚数について  
顔写真は、講習用に1枚・検定試験用に1枚（検定試験を申し込む場合のみ）の合計2枚が必要です。  
本年度に他の種類の講習や検定試験を申し込む場合、講習や検定試験の種類ごとに顔写真を用意する必要はありません。必要な顔写真の枚数は、1人につき最多で2枚です。
- (B) 写真について  
上半身・正面・脱帽にて撮影したものを使用して下さい。スピード写真可、白黒・カラーは不問です。  
撮影画像をプリンター等で印刷したものを使用する場合は、紙の厚さが0.1ミリ以下のものは避け、なるべく写真専用の光沢用紙を使用して下さい。
- (C) その他  
顔写真は、所定の大きさ（縦4cm、横3cm）に切り揃えて、貼り付ける前に裏面に本人氏名を記入して下さい。  
「顔写真貼付欄」の所定の箇所のにりつけします。のりは写真の上端にだけ付けて下さい。

<b>航海用レーダー等講習 受講申込書 (兼 検定試験受験願書)</b>						
平成 年 月 日						
申 込 者	ふりがな		生年月日	年 月 日		
	本人氏名	印	役職名			
	(所属事業場名)					
	(代表者名) <span style="float: right;">印</span>					
(所在地)						
(連絡担当者) <span style="float: right;">(電話番号)</span>						
技能手帳の有無・手帳番号		<b>有</b> ( 手帳番号 S ) ・ <b>無</b>				
学 歴	卒業学校名	学 部	学 科	卒業年月		
				年 月		
保 有 資 格	資格の名称	取得年月	資格の名称	取得年月		
		年 月		年 月		
		年 月		年 月		
航海用レーダー等の整備の経験年数		(平成24年4月1日現在) 年	メーカー研修の 受講経験	有・無		
[会員のみのみ] 同時に検定試験も申し込む方は、下記 □に○印を付け、受験希望地をご記入下さい。						
<input type="checkbox"/> 航海用レーダー整備士検定試験を申し込む						
受験希望地 (一ヶ所を○で囲んで下さい)		札幌 ・ 仙台 ・ 東京 ・ 大阪 ・ 広島 ・ 高松 ・ 福岡				
顔 写 真 貼 付 欄 (非会員は貼付不要)  ・ 申込み前6ヶ月以内に上半身・正面・脱帽にて撮影したもの(縦4cm・横3cm)  ・ 写真の裏面に氏名を記入して下さい		<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="border: 1px dashed gray; padding: 10px; width: 50%; text-align: center;">                             上端のりづけ                               [講習用]                         </td> <td style="border: 1px dashed gray; padding: 10px; width: 50%; text-align: center;">                             上端のりづけ                               [検定試験用]                         </td> </tr> </table> ※ 顔写真は講習用・検定試験用に各1枚(計2枚)を貼付して下さい。			上端のりづけ  [講習用]	上端のりづけ  [検定試験用]
上端のりづけ  [講習用]	上端のりづけ  [検定試験用]					
<b>受講料及び受験料</b> (金額は消費税込み)		受講のみの方 : 12,000円 (非会員は24,000円) 受講及び検定試験の方 : 17,000円 別途送金の場合 : 送金予定日 月 日 (銀行振込・郵便振替)				

この「申込書」にご記入いただいた個人情報厳重に管理取扱いを行い、船舶電気装備技術者の資格の運用に関する用途以外には一切使用いたしません。

## 記載要領

- (1) 「本人氏名」「ふりがな」欄には、受講・受験者本人の氏名を記入し、押印をして下さい。
- (2) 「生年月日」欄には、和暦（昭和・平成）の年月日を記入して下さい。
- (3) 「役職名」欄には、申込日現在の本人の役職名を記入して下さい。
- (4) 「所属事業場名」欄は、本人が所属している事業場の名称（会社名・必要に応じて支店営業所名）を記入して下さい。これが本人が資格を取得した際の所属事業場となりますから、複数の支店営業所等がある場合には特に注意して記入して下さい。
- (5) 「代表者名」欄は、所属事業場の代表者もしくは責任者の役職名と氏名を記入し、押印をして下さい。
- (6) 「所在地」欄には、所属事業場の所在地を都道府県名から記入して下さい。
- (7) 「連絡担当者」欄には、この申し込みについて回答できる人の氏名を記入して下さい。
- (8) 「電話番号」欄には、連絡担当者の電話番号を市外局番から記入し、必要に応じて内線番号等を記入して下さい。
- (9) 「技能手帳の有無・手帳番号」欄には、技能手帳の有無（本人が過去に当協会の技能手帳を交付されているかどうか）を○で囲み、[有]の場合は技能手帳の番号（技能手帳に記載されている『S』で始まる番号）を記入して下さい。
- (10) 「学歴」欄には、原則として最終学歴（卒業学校名・学部名・学科名・卒業年月）を記入して下さい。  
受講・受験資格に必要な経験年数の算定に係る学歴が別にある場合には、その学歴も記入して下さい。詳細は募集案内の[受講・受験資格について]を参照して下さい。  
例：最終学歴は『大学の文系学部卒業』だが高等学校が『工業高校電子工学科卒業』である場合は、両方とも記入して下さい。
- (11) 「保有資格」欄には、保有している無線・通信関係の資格の名称と、取得年月を記入して下さい。詳細は募集案内の[受講・受験資格について]を参照して下さい。
- (12) 「航海用レーダー等の整備の経験年数」欄には、平成24年4月1日の時点での整備工事の経験年数（見込み分を含む）を記入して下さい。
- (13) 「メーカー研修の受講経験」欄には、その有無を○印で囲んで下さい。

### 検定試験も同時に申し込む場合

※ 検定試験は、会員の事業場に所属する方だけが申し込むことができます。

- (14) 「航海用レーダー整備士検定試験を申し込む」欄に○印をつけて下さい。
- (15) 「受験希望地」欄に記載されている実施予定地のうち、1つを選んで○で囲んで下さい。

### 顔写真について

※ 非会員は顔写真を貼付する必要はありません。

- (A) 枚数について  
顔写真は、講習用に1枚・検定試験用に1枚（検定試験を申し込む場合のみ）の合計2枚が必要です。  
本年度に他の種類の講習や検定試験を申し込む場合、講習や検定試験の種類ごとに顔写真を用意する必要はありません。必要な顔写真の枚数は、1人につき最多で2枚です。
- (B) 写真について  
上半身・正面・脱帽にて撮影したものを使用して下さい。スピード写真可、白黒・カラーは不問です。  
撮影画像をプリンター等で印刷したものを使用する場合は、紙の厚さが0.1ミリ以下のものは避け、なるべく写真専用の光沢用紙を使用して下さい。
- (C) その他  
顔写真は、所定の大きさ（縦4cm、横3cm）に切り揃えて、貼り付ける前に裏面に本人氏名を記入して下さい。  
「顔写真貼付欄」の所定の箇所にのりづけします。のりは写真の上端にだけ付けて下さい。

無線設備講習 受講申込書 (兼 検定試験受験願書)						
平成 年 月 日						
申 込 者	ふりがな		生年月日	年 月 日		
	本人氏名	印	役職名			
	(所属事業場名)					
	(代表者名) <span style="float: right;">印</span>					
(所在地)						
(連絡担当者) <span style="float: right;">(電話番号)</span>						
技能手帳の有無・手帳番号		有 ( 手帳番号 S ) ・ 無				
学 歴	卒業学校名	学 部	学 科	卒業年月		
				年 月		
保 有 資 格	資格の名称	取得年月	資格の名称	取得年月		
		年 月		年 月		
		年 月		年 月		
無線設備等の整備の経験年数		(平成24年4月1日現在) 年	メーカー研修の 受講経験	有・無		
[会員のみ] 同時に検定試験も申し込む方は、下記 □に○印を付け、受験希望地をご記入下さい。						
<input type="checkbox"/> 航海用無線設備整備士検定試験を申し込む						
受験希望地 (一ヶ所を○で囲んで下さい)		札幌 ・ 仙台 ・ 東京 ・ 大阪 ・ 広島 ・ 高松 ・ 福岡				
顔 写 真 貼 付 欄 (非会員は貼付不要)  ・ 申込み前6ヶ月以内に上半身・正面・脱帽にて撮影したもの(縦4cm・横3cm)  ・ 写真の裏面に氏名を記入して下さい		<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="border: 1px dashed black; padding: 10px; width: 50%; text-align: center;">                     上端のりづけ                       [講習用]                 </td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 10px; width: 50%; text-align: center;">                     上端のりづけ                       [検定試験用]                 </td> </tr> </table>			上端のりづけ  [講習用]	上端のりづけ  [検定試験用]
上端のりづけ  [講習用]	上端のりづけ  [検定試験用]					
※ 顔写真は講習用・検定試験用に各1枚(計2枚)を貼付して下さい。						
<b>受講料及び受験料</b> (金額は消費税込み)		受講のみの方 : 12,000円 (非会員は24,000円) 受講及び検定試験の方 : 17,000円 別途送金の場合 : 送金予定日 月 日 (銀行振込・郵便振替)				

この「申込書」にご記入いただいた個人情報は厳重に管理取扱いを行い、船舶電気装備技術者の資格の運用に関する用途以外には一切使用いたしません。

## 記載要領

- (1) 「本人氏名」「ふりがな」欄には、受講・受験者本人の氏名を記入し、押印をして下さい。
- (2) 「生年月日」欄には、和暦（昭和・平成）の年月日を記入して下さい。
- (3) 「役職名」欄には、申込日現在の本人の役職名を記入して下さい。
- (4) 「所属事業場名」欄は、本人が所属している事業場の名称（会社名・必要に応じて支店営業所名）を記入して下さい。これが本人が資格を取得した際の所属事業場となりますから、複数の支店営業所等がある場合には特に注意して記入して下さい。
- (5) 「代表者名」欄は、所属事業場の代表者もしくは責任者の役職名と氏名を記入し、押印をして下さい。
- (6) 「所在地」欄には、所属事業場の所在地を都道府県名から記入して下さい。
- (7) 「連絡担当者」欄には、この申し込みについて回答できる人の氏名を記入して下さい。
- (8) 「電話番号」欄には、連絡担当者の電話番号を市外局番から記入し、必要に応じて内線番号等を記入して下さい。
- (9) 「技能手帳の有無・手帳番号」欄には、技能手帳の有無（本人が過去に当協会の技能手帳を交付されているかどうか）を○で囲み、[有]の場合は技能手帳の番号（技能手帳に記載されている『S』で始まる番号）を記入して下さい。
- (10) 「学歴」欄には、原則として最終学歴（卒業学校名・学部名・学科名・卒業年月）を記入して下さい。  
受講・受験資格に必要な経験年数の算定に係る学歴が別にある場合には、その学歴も記入して下さい。詳細は募集案内の[受講・受験資格について]を参照して下さい。  
例：最終学歴は『大学の文系学部卒業』だが高等学校が『工業高校電子工学科卒業』である場合は、両方とも記入して下さい。
- (11) 「保有資格」欄には、保有している無線・通信関係の資格の名称と、取得年月を記入して下さい。詳細は募集案内の[受講・受験資格について]を参照して下さい。
- (12) 「無線設備等の整備の経験年数」欄には、平成24年4月1日の時点での整備工事の経験年数（見込み分を含む）を記入して下さい。
- (13) 「メーカー研修の受講経験」欄には、その有無を○印で囲んで下さい。

### 検定試験も同時に申し込む場合

※ 検定試験は、会員の事業場に所属する方だけが申し込むことができます。

- (14) 「航海用無線設備整備士検定試験を申し込む」欄に○印をつけて下さい。
- (15) 「受験希望地」欄に記載されている実施予定地のうち、1つを選んで○で囲んで下さい。

### 顔写真について

※ 非会員は顔写真を貼付する必要はありません。

- (A) 枚数について  
顔写真は、講習用に1枚・検定試験用に1枚（検定試験を申し込む場合のみ）の合計2枚が必要です。  
本年度に他の種類の講習や検定試験を申し込む場合、講習や検定試験の種類ごとに顔写真を用意する必要はありません。必要な顔写真の枚数は、1人につき最多で2枚です。
- (B) 写真について  
上半身・正面・脱帽にて撮影したものを使用して下さい。スピード写真可、白黒・カラーは不問です。  
撮影画像をプリンター等で印刷したものを使用する場合は、紙の厚さが0.1ミリ以下のものは避け、なるべく写真専用の光沢用紙を使用して下さい。
- (C) その他  
顔写真は、所定の大きさ（縦4cm、横3cm）に切り揃えて、貼り付ける前に裏面に本人氏名を記入して下さい。  
「顔写真貼付欄」の所定の箇所にのりづけします。のりは写真の上端にだけ付けて下さい。



## 記載要領

- この受験願書は、講習を申し込まずに検定試験だけを単独で申し込む方だけが使用して下さい。
  - 講習も申し込む方は、講習・検定試験共通の申込書を使用して下さい。
  - 1人で複数の検定試験を申し込む場合は、検定試験の種類ごとに提出して下さい。
- (1) 「本人氏名」「ふりがな」欄には、受験者本人の氏名を記入し、押印をして下さい。
  - (2) 「生年月日」欄には、和暦（昭和・平成）の年月日を記入して下さい。
  - (3) 「役職名」欄には、申込日現在の本人の役職名を記入して下さい。
  - (4) 「所属事業場名」欄は、本人が所属している事業場の名称（会社名・必要に応じて支店営業所名）を記入して下さい。これが本人が資格を取得した際の所属事業場となりますから、複数の支店営業所等がある場合には特に注意して記入して下さい。
  - (5) 「代表者名」欄は、所属事業場の代表者もしくは責任者の役職名と氏名を記入し、押印をして下さい。
  - (6) 「所在地」欄には、所属事業場の所在地を都道府県名から記入して下さい。
  - (7) 「連絡担当者」欄には、この申し込みについて回答できる人の氏名を記入して下さい。
  - (8) 「電話番号」欄には、連絡担当者の電話番号を市外局番から記入し、必要に応じて内線番号等を記入して下さい。
  - (9) 「技能手帳の有無・手帳番号」欄には、技能手帳の有無（本人が過去に当協会の技能手帳を交付されているかどうか）を○で囲み、[有]の場合は技能手帳の番号（技能手帳に記載されている『S』で始まる番号）を記入して下さい。
  - (10) 「申し込む検定試験の種類」欄には、検定試験の種類を1つ選んで○で囲んで下さい。
  - (11) 「受講履歴」欄には、申し込む検定試験に対応する講習について、講習名1つを○で囲み、その修了又は修了見込み年度を記入して下さい。
  - (12) 「受験希望地」欄に記載されている実施予定地のうち、1つを選んで○で囲んで下さい。

### 顔写真について

#### (A) 枚数について

検定試験用の顔写真は、1人につき1枚が必要です。

本年度に他の検定試験を申し込む場合、これを含めて1枚だけが必要です。ただし講習を申し込む場合は、講習用にもう1枚が必要です。

複数申し込みの方でも、種類ごとに顔写真を用意する必要はありません。必要な顔写真の枚数は、1人につき（講習の分を含め）最多で2枚です。

#### (B) 写真について

上半身・正面・脱帽にて撮影したものを使用して下さい。スピード写真可、白黒・カラーは不問です。

撮影画像をプリンター等で印刷したものを使用する場合は、紙の厚さが0.1ミリ以下のものは避け、なるべく写真専用の光沢用紙を使用して下さい。

#### (C) その他

顔写真は、所定の大きさ（縦4cm、横3cm）に切り揃えて、貼り付ける前に裏面に本人氏名を記入して下さい。

「顔写真貼付欄」の所定の箇所のにりつけします。のりは写真の上端にだけ付けて下さい。